

平成25年度「女性に対する暴力防止講演会 in唐津市」を開催しました

平成25年11月24日(日)相知交流文化センターで、「女性に対する暴力防止講演会」を開催しました。

当日は、ウィメンズクリニック・かみむら(岡山市)院長 ^{かみむらしげひと}上村茂仁氏の講演会「HAPPYな関係になるために～デートDVってなあに?～」と、お出かけ講座志援隊(呼子町地域婦人会)の皆さんによる「デートDV・DVIに関する朗読劇」を上演し、100名を超す多数の方にご参加いただきました。

主催:佐賀県、唐津市
主管:佐賀県DV総合対策センター
共催:唐津市男女共同参画ネットワーク“レゾナ”、唐津市地域婦人連絡協議会
後援:唐津市教育委員会

「お出かけ講座志援隊」による朗読劇

女性に対する暴力防止講演会の開催地である唐津市では、男女共同参画について楽しく学ぶための出前講座として「お出かけ講座志援隊」を派遣しています。

「呼子町地域婦人会」の方々からなる「お出かけ講座志援隊」は、方々の集會等に出向き、一コマ劇や講話などを通して男女がお互いの人権を大切に、心豊かに生活できる社会について伝えられています。

今回、デートDVやDVIについて、様々な場面を想定した朗読劇を上演いただきました。デートDVやDVIが以外と身近に潜んでいるということを、方言を交えて、分かりやすく、楽しく伝えていただきました。



朗読劇の様子



場面毎の解説

※「お出かけ講座志援隊」に関するお問い合わせ先
唐津市男女共同参画・地域づくり課
電話 0955-72-9239 FAX 0955-72-9180

「HAPPYな関係になるために ～デートDVってなあに?～」講演会

講師には、岡山市内で女性総合診療所「ウィメンズクリニック・かみむら」を開設し、性教育活動等に熱心に取り組まれている上村茂仁氏をお迎えし、若者が抱えている悩みや現状について、そして、その悩みから見えてくるデートDVの問題について、分かりやすくお話いただきました。

上村氏は、岡山県内の学生に、性・性感染症のHPとEメールアドレスを紹介し、無料で全ての学生の匿名の質問に直接答えるなどの教育活動をされています。



講師の上村茂仁氏

悩みの相談先

子どもたちに、性に関する悩みを誰に相談しているかと尋ねると、1番に「友人」、2番に「ネットの情報に頼る」となります。このことから、周りの友人が正しい知識を持つことが重要だということがわかります。

反対に、大人に相談しない理由は、すぐ怒ったり指導しようとする姿勢を感じるからという理由です。

「ウィメンズクリニック・かみむら」を受診する患者のうち1/4は中学生や高校生です。当院は単なる婦人科ではなく、女性の相談先のような役割を担っています。

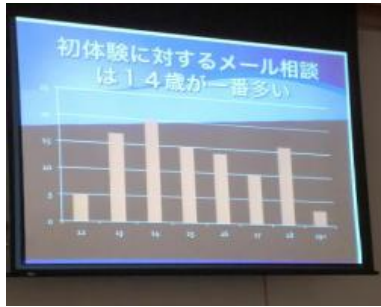
相談を受ける中で一番大切なことは、相談の中から、表面に表れにくいデートDVの被害を見つけ出すことだと感じています。子どもたちにとって簡単に相談できる場所があれば、質問し回答を得て、納得することができます。

相談することで、危険な行動に陥る可能性が低くなります。

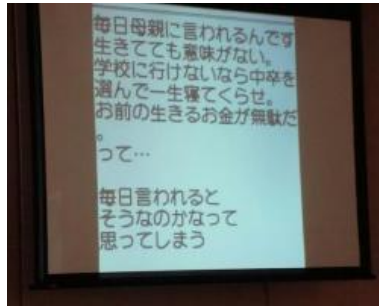
寄せられる相談

メールなどで寄せられる相談には、話し言葉で、子どもたちの心につかえている問題や、有りようが綴られます。寄せられる相談のなかで、性的な内容を含む相談が一番多い年齢は14歳です。性的なことを真剣に考え、また危険にさらされている年齢が14歳と言えます。

一方、性暴力被害(レイプ)を報告してくる子どもたちに詳しく話を聞くと、8～9歳頃から性的な被害を受けていたと回答することが少なくありません。



初体験に対する相談の年齢別内訳について



寄せられる相談のメール画面

学校教育で配慮すべきこと

学校教育の中では、様々な問題を未然に防ぐために、命の教育や自己肯定感に関する教育が有効だと言われ、実施されています。

しかし、中には、育った環境や置かれた状況から、そのような教育内容を辛く感じてしまう子どもがいます。

一方の教育によって苦しみ、弾き飛ばされる子どもがいるということを念頭に置きながら、全ての子どもに対応できる教育を行う必要があると思います。

また、「何となくだるい、しんどい」等の不定愁訴で当院を受診する女子の約11%にデートDVの被害が確認できました。

よって、学校の先生方には、日頃から不定愁訴を口にする生徒には配慮していただくようお願いしています。

相手に「怖さ」を感じる恋愛って？

恋愛では、「いやだ」「面倒くさい」「しんどい」と感じることがあります。しかし、恋愛とデートDVが異なるのは、相手に怖さを感じる点です。

デートDVの加害者は、相手をコントロールするために、身体的暴力を振るったり、「約束」をすることで精神的な揺さぶりをかけます。このことが、怖さにつながります。

デートDVのキーポイント「約束」

デートDVの中でキーポイントとなる言葉は、「約束」です。デートDVの加害者は、たくさんの約束で相手をがんじがらめにします。

デートDVとは、自分が安心したいために色々な約束をさせて、それを破ると過度に怒ったり、馬鹿にしたりするなど、相手が普通の生活をするのに障害になるような行為のことだと思います。

周囲の支え

デートDVは、相手の力を失わせる行為です。デートDVを受けていると、「怖い」という意識がなくなり、また、自分のことが客観的に見えなくなります。そうなれば、デートDVの被害に遭っていることを判断するのは、周りにいる友人です。

例え、自分のことが客観的に見えなくても、周りのことは客観的に見えるということがあります。お互いがお互いをカバーするような友人関係があればいいと思います。そして、その相談を大人に繋げてもらえればと思います。

繋がる力

子どもたちには、繋がる力を身につけて欲しいと思います。人、場所、仕組み、本、映画、音楽、LINE、何でもいい、いっぱいつながって欲しいと思います。そうすれば、自分がさびしい時、辛い時、自分が癒される場所で、自分の心を癒しながら自分で立ち直れるのではないかなと思うのです。それが、デートDVを予防するために、大切なことだと思います。

「ただやさしい人」「大切にしてくれる人」

ただやさしい人と大切にしてくれる人は異なります。ただやさしい人とは、「その人が自分で勝手に考えて、その人が相手にとって優しいことだろうと思うことを行い、相手

の要求を全部聞いてあげることで、優しさを強調し、相手の信頼を得ようとする」人で、これは、自分本位の考えでしかありません。

相手を大切にできる人とは、「自分の思い通りにならなくても、相手の意見を尊重し、相手の幸せを考えて行動でき、もし、相手の要求があったとしても、場合によっては相手の要求を断ることもある。相手にとって良くないということであれば、嫌われることを覚悟で、相手に反対することができる」人ではないでしょうか。

しかし、残念なことに、ただ優しいだけの相手に好意を抱くことが多いようです。

「HAPPYな関係になるために」は、ただやさしい人ではなく、大切にしてくれる人を見極めることが大切ではないかと思えます。



熱心に耳を傾ける参加者

[← 一覧に戻る](#)

お問い合わせ先

佐賀県DV総合対策センター（アバンセ内）
〒840-0815 佐賀県佐賀市天神三丁目2-11
TEL: 0952-28-1492
FAX: 0952-25-5591
Mail: dv@avance.or.jp ※メールによるご相談はお受けしていません。

[↑ このページの上部へ](#)



[アクセス・交通機関のご案内](#)

[お問い合わせ/ご意見/ご要望](#)

アバンセ
佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター

〒840-0815
佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんどんの森内)
TEL: 0952-26-0011 FAX: 0952-25-5591

【指定管理者】公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団

Copyright (C) 2011 Avance All rights reserved

開館時間

火曜～土曜日：8時30分～22時00分
日曜・祝日：8時30分～17時00分
(ホールは22時00分まで)

休館日

毎週月曜日(祝日も含む)
12月29日から翌年1月3日まで